

にらの 1 年 1 作連続収穫技術における「ゆめみどり」の多収性の実証

要約

ゆめみどりは既存品種に比べやや多収で葉幅が細くなりにくいいため、1 年 1 作連続栽培に適する品種だと考えられる。また、「ゆめみどり」の 1 年 1 作連続栽培においては、厳寒期の表皮剥離の発生が少ない。

○ 展示のねらい

栃木県農試が育成したにら新品種「ゆめみどり」について、1 年 1 作連続収穫における多収性、品質を実証する。

作型	品種	保温方法	すて刈り日
1 年 1 作	ゆめみどり	ウォーターカーテン	10 月 3 日
1 年 1 作	ミラクルグリーンベルト	ウォーターカーテン	10 月 8 日

○ 主な成果

- ・ 1 年 1 作連続栽培において、ゆめみどりは既存品種のミラクルグリーンベルトよりやや多収（110%）で、葉幅の低下も少ない品種である。
- ・ ゆめみどりによる 1 年 1 作連続栽培では、年内の端境期に収穫でき、厳寒期の表皮剥離の発生が少ない。
- ・ H28 年度の定植面積の半分を 1 年 1 作連続栽培に切り替えたことで、1 年 1 作導入前に比べ、端境期の出荷量が 148%、販売金額が 142%に増加した（データ省略）。

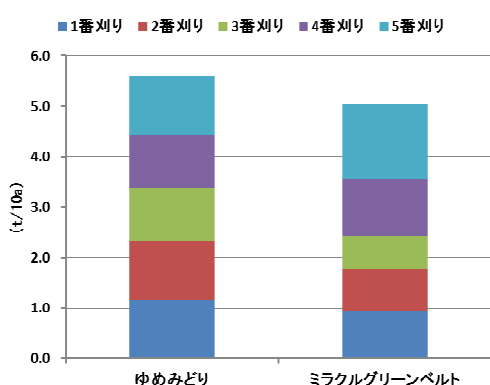


図 1 単収

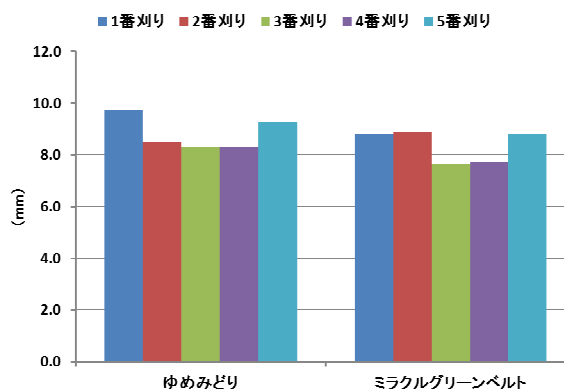


図 2 葉幅の推移

今後の方向性

1 年 1 作連続栽培における収穫 3 回目、4 回目での AL 率（葉幅 8 mm 以上の重量割合）低下の程度は大きかった。このことから 1 年 1 作連続栽培は、通常の段ボール出荷のみの生産者には、8 mm 以下の茎を選別する手間が増えることから導入のメリットが少ないと思われる。

そのため、無選別で対応できるコンテナ出荷取組者に対して 1 年 1 作連続栽培を推進していく。

実施機関：芳賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：真岡市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315